

きつ音〇×クイズ

引用・参考文献

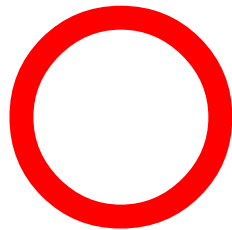
「学齡期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに
基づいたアセスメントプログラム」

小林宏明著 学苑社

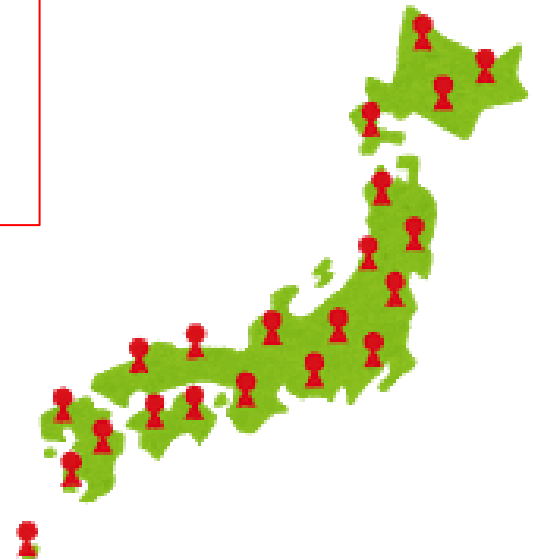
岩手県立総合教育センター

クイズ1

きつ音のある人は，日本に
1万2000人くらいいる？



日本の人口は
およそ1億2000万人だよ



引用・参考

「学齡期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ1 こたえ

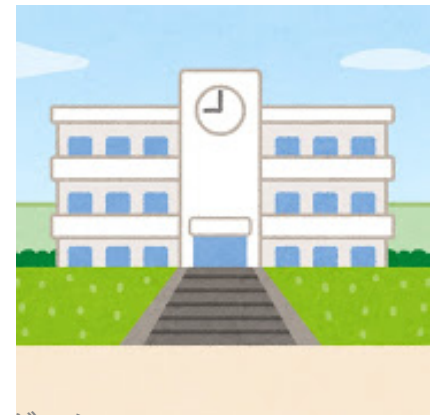


きつ音のある人は、だいたい人口の1%パーセント（100人に1人）ぐらいいるといわれています。

日本の人口はやく1億2,000万人ですから、その1%パーセントとかがえると120万人ぐらいのきつ音のある人がいる計算になります。



全校生徒が300人くらい
だときつ音のある人は
3人くらいいるかもしれ
ません

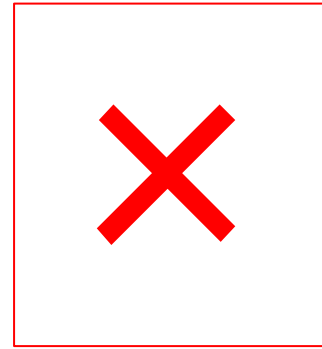
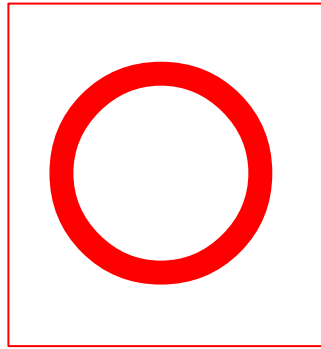


引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ2

日本人はほかの国の人よりも
きつ音のある人が多い？



引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ2 こたえ



きつ音のある人は、世界中、どの地域でも人口の1%ぐらいであることが知られています。

きつ音のある人は、日本にも、アメリカにも、中国にも、インドにも、アフリカにも、おなじぐらいいるのです。

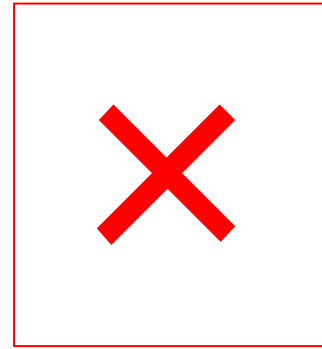
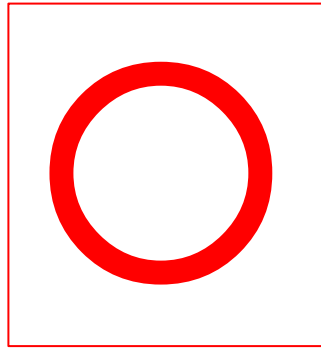


引用・参考

「学齡期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ3

左ききを右ききにかえると
きつ音になる？



引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ3 こたえ



どうしてきつ音になるか，はっきりしたことはまだわかっていません。しかし，左ききを右ききにかえてもきつ音にならないことは，これまでの研究でわかっています。

また，

「ほかのきつ音のある人の話し方をまねてうつった」

「お母さんやお父さんのそだて方がよくなかった」

「小さいときにいけないことをした罰があたった」

「小さいときにどんぐりを食べた」

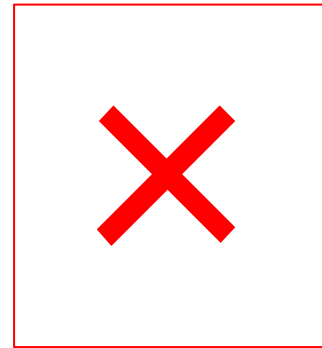
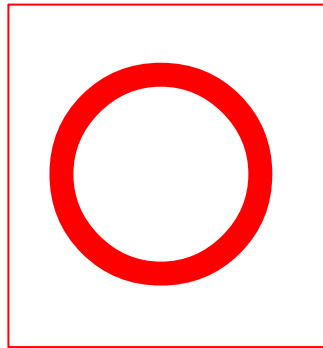
ことでもきつ音にはなりません。

引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版－ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ4

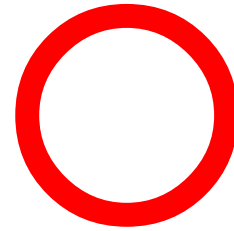
きつ音のある人の多くは、
2～4歳できつ音が出はじめる？



引用・参考

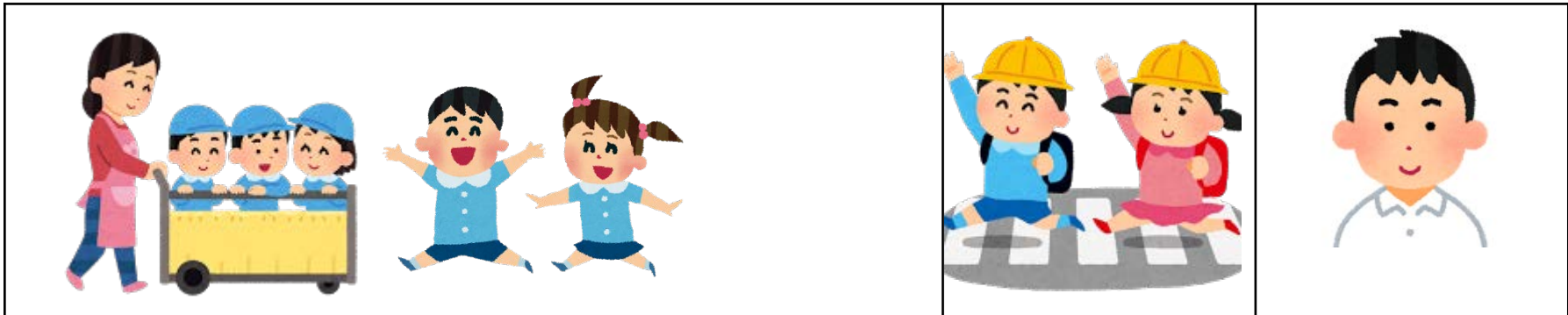
「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ4 こたえ



きつ音が出はじめる年れいは、人によってちがいますが、一番多いのは、2～4歳で、やく6～7割はこの時期にきつ音が出はじめると言われています。

しかし、6～7歳にきつ音が出はじめる人も1～2割ぐらいいいますし、小学校高学年や中学生、大人になってから出はじめる人もいます。

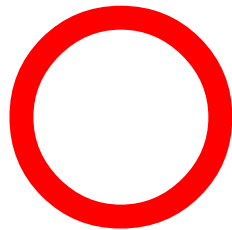


引用・参考

「学齡期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ5

きつ音のある人は、
「あ」行ではじまることばが苦手？



引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ5 こたえ



きつ音がある人には、たしかに「あ」行ではじまることばが苦手な人がいますが、そうでない人もおおぜいいます。

また、「か」行が苦手な人、「さ」行が苦手な人、「は」行が苦手な人などもたくさんいます。

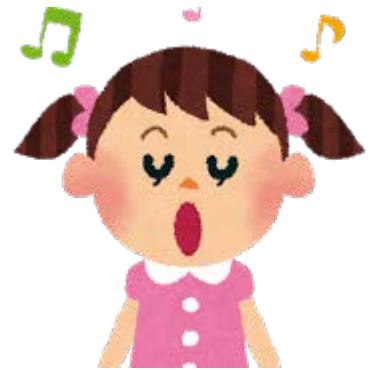
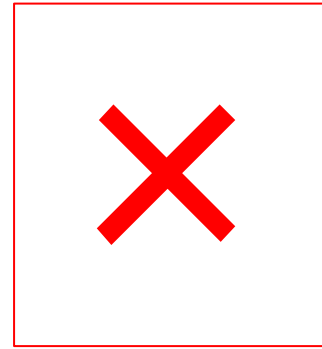
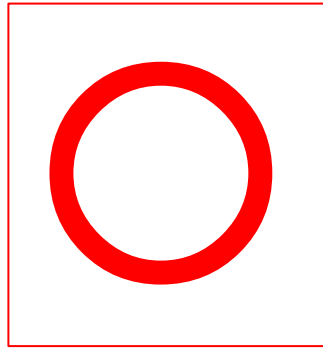


引用・参考

「学齡期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ6

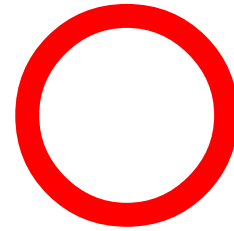
歌を歌うときに
きつ音が出ることは少ない？



引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ6 こたえ



きつ音がかなり出ている人でも，歌を歌うときにきつ音が出ることは少ないようです。

きつ音が出にくい場面は，そのほかに

「ひとりごとを言う」

「ぬいぐるみや動物と話す」

「小さい子どもに話しかける」

「ほかの人といっしょに声をあわせて話す」
などがあります。

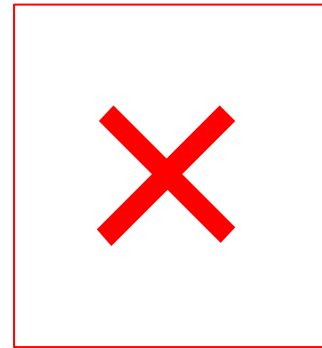
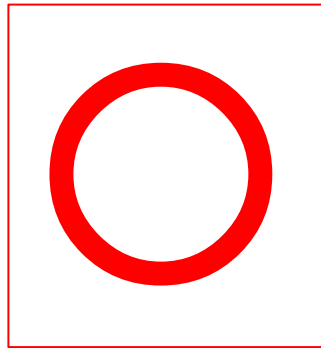


引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版－ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ7

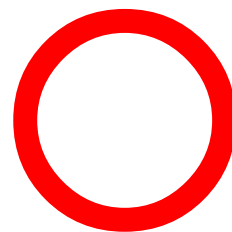
きつ音のある人には、
アナウンサーや俳優になる人もいる？



引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ7 こたえ



きつ音のある人にも，アナウンサーや俳優としてかつやくしている人がいます。また，学校の先生，セールスマン，歌手など，たくさん話さなくていけない仕事をしているきつ音のある人もおおぜいいます。

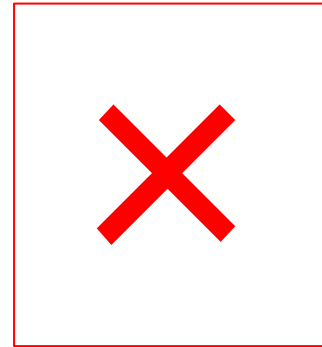
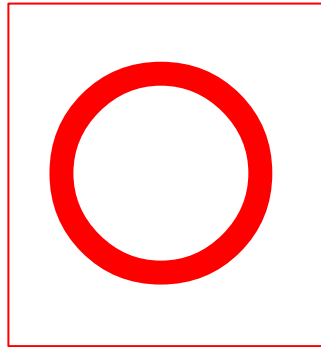


引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ8

きつ音の話し方は
大人になっても変わらない？



引用・参考

「学齡期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ8 こたえ



大人になったきつ音のある人には、ほとんど目立たないくらいきつ音が出なくなる人がいます。

また、子どものときにくらべると、きつ音がでる回数が少なくなったり、話すときのイヤな気持ちが少なくなったり、きつ音のときにことばが出るまでの時間がみじかくなったりする人もおおぜいいます。

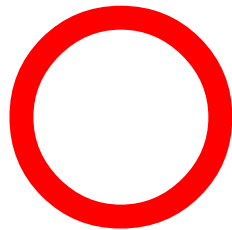


引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ9

古代エジプト時代には、きつ音のある人がいたと考えられている？



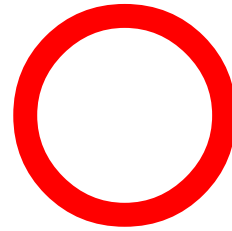
古代エジプト時代は
今から約4000年前です



引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ9 こたえ



古代エジプト時代(今から約4,000年前)に使われていた、ヒエログリフという絵文字に、「話そうとしているが、声がかべのようなものにさえぎられてうまく話せない人」が描かれており、きつ音のある人をあらわしているのではないかと考えられました。このように、きつ音は、わたしたちが生まれるずっと前の時代から、わたしたちをなやませてきた問題だったようです。

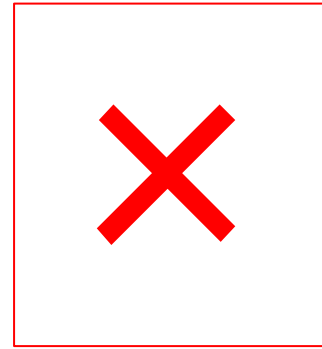
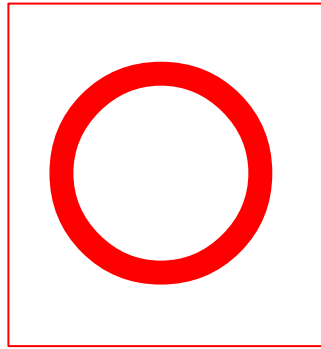


引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版－ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ10

きつ音のある人は、おおぜいの人の中で
発表するときや、電話をかけるときは、
かならずきつ音がでる？



引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ10 こたえ



きつ音のある人は、おおぜいの人の前で発表するときや電話をかけるときに きつ音がでやすい けいこうがあります。

ただし、すべてのきつ音のある人がこれらを苦手としているわけではありません。なかには、おおぜいの前で発表したり、電話をかけたりするときの方が、きつ音が出にくいという人もいます。

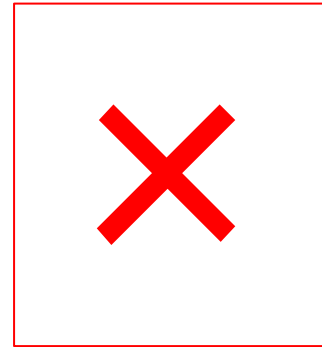
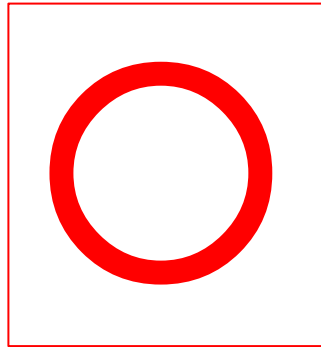


引用・参考

「学齡期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ11

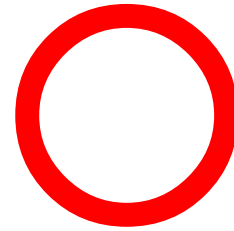
体に力がはいっていると、
きつ音が出やすくなる？



引用・参考

「学齡期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ11 こたえ



きつ音の話し方には、つぎのようなれいがあります。

「くりかえし」(わ, わ, わたし)

「ひきのぼし」(わーーわたし)

「つまり」(・・・わたし)

そして、体に力が入ると、きつ音の出る回数が多くなったり、「ひきのぼし」や「つまり」などのより話しにくいタイプのきつ音がふえたりすることが知られています。

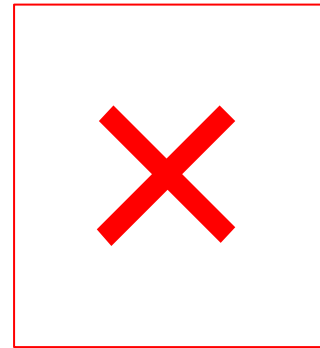
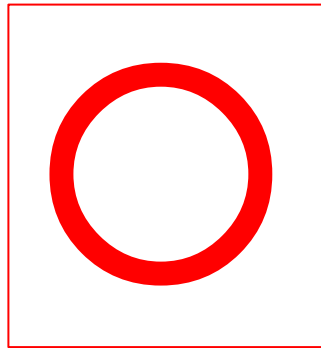


引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ12

きつ音がよくなるのは、
努力がたりないからである？



引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版—ICTに基づいたアセスメントプログラム」

クイズ12 こたえ



あなたは、もしかしたら、きつ音をよくするための努力を一生懸命しているのに、なかなか きつ音がよくなりないうでがっかりしているのかもしれない。

しかし、きつ音がよくなりないのは、けっして、あなたの努力が たりないからではありません。

きつ音の かいぜんのための練習のせいかが出るには、長い時間が ひつようなのです。そこで、きつ音のかいぜんには、話し方のれんしゅうや、いろいろな場面をさけないで話しつづけることを 地道にやりつづけることが ひつようなのです。

引用・参考

「学齢期吃音の指導・支援 改訂第2版－ICTに基づいたアセスメントプログラム」